事 業 報 告 書

1 支援団体名	中島壮年部
2 事業名称	厳木ダム周辺「中島水辺の交流とオアシスの郷づくり」事業
3 実施日時	平成２９年４月～平成３０年２月（第２回川リンピック７月２９日）
4 実施場所	厳木町中島字墨田地内外
5 事業目的、内容及びその効果	（事業実施状況･内容） 4 月の筍掘り体験事業をスタートに、5 月の厳木ダム湖周辺除草及びオアシスの郷保全・管理活動、ホタル再生環境整備、ホタル観賞会、６月子どもクラブ合同厳木川水質、生態系調査・学習会。７月河床に生息する藻等の除去、清掃及び周辺の清掃・除草作業等を実施。７月２９日に第２回川リンピックフェスタを開催し、他地区の子どもクラブ及び住民等の交流・体験イベントを実施。秋季は、ダム周辺除草作業、厳木ダム管理 30 周年記念イベント参画。冬季は、ダム周辺梅林公園の剪定作業及び厳木川内の除草、竹伐採及び焼却作業を実施。特に、周年を通してオアシスの郷「多面的な森と川づくり」事業の管理・保全活動等を展開いたしました。
	（事業実施効果） ダム周辺除草及びオアシス周辺の河川環境整備を始め、緑化・景観づくり活動等を通じて、ダムや水資源は流域住民の共有財産であるとの意識が芽生えています。又、ホタル再生、河川生態系調査・学習会及び、清掃活動等により、水資源機能の重要性及び公益性と循環性の理解をはじめ、水資源への恩恵と愛護思想が培われています。特に、川リンピックフェスタは、子ども達の交流・体験等情操教育のイベントとして成熟することが期待されています。更に、平成 25 年度から着手しています里山と河川の有機的再生と活用を図るオンリーワンの「水辺の交流とオアシスの郷づくり」の進展により、流域内外の人々のプラットホーム機能の拠点となりつつあり、個性と魅力ある地域づくりとして地域活性化の起爆剤になっています。
6 参加内訳	総人数　４６５　名
	（1）主催者参加　１７７　名
	（2）日本人参加（（1）を除く）　２７８　名
	（3）外国人参加（（1）を除く）　１０　名
7 今後の方針	里山と河川の一体的有機的な活用を図るオンリーワンの水辺の交流とオアシスの郷づくりの更なる進展により、厳木川流域住民を始め、町内外の人々のプラットホームとしての役割を加速させ、ダムや水資源の重要性と保全意識の醸成と向上を図ります。更に、川リンピックフェスタは、世代間交流や子育て支援の一環として体験・交流・情操教育のイベントとして進化充実を図ります。これらの活動を通じて、中島地区の個性ある交流拠点として認知度を高め、新しい歴史とストリーづくりを目指します。

厳木川水質・生態調査

水質・生態系学習会

第２回川リンピック状況

川リンピック―水中大玉転送ゲーム

川リンピックー水中ドッジボール

河川内葦焼き状況